

令和7年度 第34回 契約・調達委員会 審査概要

開催日時 及び場所		令和7年4月17日（木）10:00～10:22 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 3階 会議室3/オンライン																				
出席委員		世界陸上財団 事務次長（委員長） 遠松 秀将 弁護士 原澤 敦美 公認会計士 黒石 匡昭 世界陸上財団 総務部長 田近 隆 世界陸上財団 企画部長 白石 正樹 世界陸上財団 財務部長 川口 貴史 世界陸上財団 業務開発部長 小林あかね （敬称略・7名）																				
審査案件	案件 1	東京2025世界陸上競技選手権大会の100日前イベント等に係る気運醸成業務委託																				
	契約方法	スポンサー供給優先権に基づく特別契約																				
	概要	○大会100日前の節目を迎え、大会アンバサダー等を活用したイベントの開催を通じて、子どもをはじめ幅広い層の世界陸上に対する関心や認知度の向上を図るとともに、陸上に触れる機会の創出により大会への気運醸成につなげる。 ○委託するイベントの概要は以下のとおり																				
		<table><tr><th>開催日</th><th>主な内容</th><th>会場</th><th>プロモーション展開</th></tr><tr><td rowspan="4">6/5(木)</td><td>①メダルデザイン公表</td><td rowspan="4">麻布台 ヒルズ</td><td rowspan="9">テレビ放映やSNS等の媒体を活用して一体的な気運醸成を図る。</td></tr><tr><td>②スポンサー・財団・東京都から発表</td></tr><tr><td>③出演者のトークセッション</td></tr><tr><td>④フォトセッション</td></tr><tr><td>6/7(土)</td><td>①ステージイベント</td><td rowspan="4">行幸通り</td></tr><tr><td rowspan="2">6/8(日)</td><td>②陸上体験イベント</td></tr><tr><td>③陸上視聴イベント</td></tr><tr><td colspan="2">④ブース出展</td></tr></table>				開催日	主な内容	会場	プロモーション展開	6/5(木)	①メダルデザイン公表	麻布台 ヒルズ	テレビ放映やSNS等の媒体を活用して一体的な気運醸成を図る。	②スポンサー・財団・東京都から発表	③出演者のトークセッション	④フォトセッション	6/7(土)	①ステージイベント	行幸通り	6/8(日)	②陸上体験イベント	③陸上視聴イベント
開催日	主な内容	会場	プロモーション展開																			
6/5(木)	①メダルデザイン公表	麻布台 ヒルズ	テレビ放映やSNS等の媒体を活用して一体的な気運醸成を図る。																			
	②スポンサー・財団・東京都から発表																					
	③出演者のトークセッション																					
	④フォトセッション																					
6/7(土)	①ステージイベント	行幸通り																				
6/8(日)	②陸上体験イベント																					
	③陸上視聴イベント																					
④ブース出展																						
		○契約期間：契約確定日から2025年6月30日まで																				

審査結果	➤ 案件 1 について、契約手続前（仕様の内容、予定価格、契約方法等）の審査を実施し、了承された。
委員の 主な意見 (要旨)	(案件 1 について) ○原澤委員 本契約はスポンサー供給優先権に基づく特別契約ではあるが、スポンサーとの交渉がまとまらなかった場合には、スポンサー以外の第三者と契約を締結する必要が生じるため、仮にそのような事態が生じた場合でも、イベントを予定どおりに開催できるようなスケジュール感でスポンサーとの交渉等を進めてほしい。 ⇒ 所管部 契約手続と並行して進められる準備を着実に行いつつ、ご指摘のような事情が生じた場合にもリカバリーできるように努めたい。 ○黒石委員 委託経費の中で、最も金額が大きいのは「イベント運営費」となっていて、そのうち、人件費は緻密に積算されているが、競技体験イベントの製作費は簡易な積み上げとなっている。積算の考え方について教えてほしい。 ⇒ 所管部 競技体験イベントについては、都民が「走る、投げる、跳ぶ」を体験できるコンテンツを想定している。積算については、「走る、投げる、跳ぶ」の 3 種類の体験を 3 つずつ用意（計 9 種類）することを想定し、単価は類似のスポーツイベントの実績等を勘案して設定している。